



島根の地域医療

島根県医療対策課医師確保対策室
 電話(0852)22-6683 FAX(0852)22-6040
 ホームページ [島根の医療]
<http://www.pref.shimane.lg.jp/irvotaisaku/>

今回の紙面

- ◆ 今年度新設された医師確保対策室 《木村医師確保対策室長》 ◆ 地域医療最前線その20 《北條宣政先生》 ◆ 研修医のページその6 《成田泰子先生》
- ◆ 『研修医のマッチングに向け研修病院合同説明会開催』報告 ◆ 医学生のための奨学金制度 ◆ 『平成17年度第2回島根県臨床研修指導医講習会』報告
- ◆ 看護師さんのページその1 《青山 舞さん》 ◆ 隠岐病院の産婦人科医について ◆ 島根県が日本に、世界に誇れるあれこれ
- ◆ 県のドクターバンクから《島根県医師会》 ◆ 島根県からのお知らせなど

今年度新設された

医師確保対策室

島根県医療対策課医師確保対策室・室長

木村 清志



本年四月以来、隠岐病院の産婦人科の診療体制に関しては、皆様方にご心配をかけてまい

りました。結果的に一度は四月中旬から隠岐島内で出産ができないという事態になりましたが、新たな医師を確保できる目処がたち、十一月には県立中央病院から複数の医師を派遣し、島内での出産が再開される見通しとなりました。この例に象徴されるように、本県においては離島・中山間地域の医師不足や、特定の診療科における医師不足は、近年、より深刻さを増しています。

こういった状況の中で、今年度医療対策課内に医師確保対策室が設置され、私が室長を拝命いたしました。即戦力となる医師の確保に全力を尽くすとともに、中長期的に医師確保が安定的に出来るように、島根大学医学部の地域医療教育に対する支援や臨床研修の充実を図るための支援を行ってまいります。また、国に対しては、抜本的な医師確保対策を早期に制度化されるように、一層強く働きかけてまいります。

地域医療最前線その20

―地域医療を志して―

浜田市国民健康保険波佐診療所・所長

北條 宣政

波佐診療所は浜田市金城町南部に位置し、南に西中国山地の大佐山(1,068m)を望みます。三年前、三十五年ぶりの常勤医師として齊藤稔哲医師が波佐診療所長として着任し、診療所の機能が充実しました。

二〇〇二年四月より齊藤医師の後任として勤務しています。

私は学生時代から地域医療を志望し、一九九一年に島根医科大学を卒業しました。島根県立中央病院で三年間、内科、小児科、救命救急科、総合診療科でローテート研修を受けました。指導医の先生方には、多忙な診療の中でご指導をいただき、大変、感謝しております。その後、出雲市国民健康保険乙立里家診療所へ勤務し、七年前に臨床能力の向上のため、愛媛大学第一内科に入局しました。

地域医療はその地域が好きになることから始まります。今は人々の暮らしや地域の歴史や文化、自然環境を知りたいと思います。そして、この地域で生じる健康課題を把握し、医師として何ができるか、というところを追求したいと考えています。現在、浜田市では四つの国保診療所に

五人の医師が勤務しています。診療所間が連携することにより医師が孤立しない環境が作られています。また、今後も浜田医療センターとの病診連携がととても重要だと考えています。

医師の偏在などで地域医療が深刻な状態に陥っていますが、地域医療を志す学生や医師は少なくないと思います。波佐診療所が次の世代の医師を育てる場所になるように、日々研鑽したいと思えます。



浜田市国民健康保険波佐診療所

研修医のページその6

〜二年目の研修医師から〜

【県立中央病院 成田泰子】

新臨床研修制度二期生として、昨年より島根県立中央病院で研修をさせていただいております。一年目に必修診療科である内科・外科・救急救命科・麻酔科を研修し、二年目に

小児科・産婦人科・精神科・地域医療、そして選択診療科をローテーションする予定です。当院の特徴として完全電子カルテ・システムがあり、使えるようになるまでは多少時間がかかりましたが、病歴・検査結果・薬歴等の情報を迅速に得ることができ、慣れると大変便利です。また、

研修医のためのプログラムとして、週に一度の早朝カンファレンスがあり、各診療科の先生方から様々なテーマでの講義を受けることができたり、毎月研修医によるポータルフォーラムやCPCもあり、上級医からの指導に加えてお互いに研鑽しあえる機会がたくさん準備されています。この一年間の研修ではドクターやコ・

メディカルの皆さん、そして何より患者さんから様々なことを学ばせていただきました。今年入ってきたばかりの一年目の先生たちと一緒に研修をしていると、去年の自分の新鮮な気持ちを思い出し、身の引き締まる思いで日々刺激を受けています。今後も初心を忘れることなく有意義な研修となるよう努力していきたいと思えます。

◆ 『研修医のマッチングに向け 研修病院合同説明会開催』 報告

学生や研修医に県内の研修病院で臨床研修を行ってもらおうと、三月十八日（土）に初期臨床研修ガイド

ンス、四月二十九日（祝）に後期臨床研修ガイドランスを出雲市で開催しました。これらのガイドランスは、昨年から県と臨床研修指定病院が合同して開催しており、今回で二度目となります。

ガイドランスでは、島根大学医学部の学生や県内の初期研修医ら合計三十七名の参加があり、臨床研修指定病院から研修プログラムの特徴、指導体制、処遇などのプレゼンテーションを行いました。

また、後半の個別説明会では、実際に研修している研修医の声も聞けるとあって参加者からは好評でした。なお、後期臨床研修については、現在、十二の臨床研修指定病院のうち八病院がプログラムを作成しており、今年度から三十六名（医療対策課調べ）の医師が県内で研修を積んでいます。

【医療対策課 古瀬】



個別説明会の模様

◆ 医学生のための奨学金制度

島根県では、県内の地域医療を担う医師育成のために、奨学金制度を設けています。

【医学生地域医療奨学金】

■ 対象者

大学生、大学院生で、将来島根県内の公的医療機関や中山間地等での勤務を志す方（大学・出身地の別は問いません。）

■ 貸与額

- 大学生 月額一〇〇、〇〇〇円
- 大学院生月額一五〇、〇〇〇円
- 入学金相当額一八二、〇〇〇円

■ 返還の免除(例)

在学中六年間貸与された場合、卒業後十八年が経過するまでに、県内公的医療機関等で二年間、県内のへき地医療機関で三年間の計六年間勤務すれば、返還免除となります。

※ 医学生地域医療奨学金は、島根大学地域枠推薦入学者には、優先的に貸与されます。

【しまね医学生特別奨学金】

■ 対象者

島根大学医学部に在学する一〜五年までの医学生で、将来、島根県内の公的医療機関等での勤務を志す方

■ 貸与額

一年度一回につき一、五〇〇、〇〇〇円（在学中に、連続する二年度内に二回を限度とします。）

■ 返還の免除

初期臨床研修終了後、県内の公的医療機関等で六年間勤務した場合、返還免除となります。

【医療対策課 石橋】

◆ 「平成十七年度第二回 島根県臨床研修指導医講習会」 報告

＝平成十八年度は十月に開催予定＝

第二回目の指導医講習会は、島根大学医学部との共催で平成十八年二月四日（土）〜五日（日）島根女子短期大学において開催しました。

今回も、延べ十六時間のワークショップ形式で行い、四十四名の講習修了者に島根県知事・島根大学医学部附属病院長・厚生労働省医政局長との連名による「修了証書」が授与されました。

県内では松江赤十字病院主催で三月に同様な指導医講習会を開催されました。

卒後臨床研修の充実を図るためのソフト面では、指導医の役割が大変重要です。この講習会を受講した成果として、県内の研修病院に多くの研修医が集まることを期待しています。

★ スタッフ

▽ディレクター

名古屋大学 伴信太郎先生

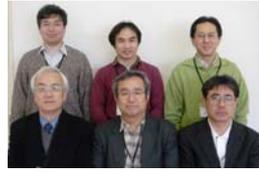
▽タスクフオーズ

呉医療センター ・ 田中丈夫先生
島根大学医学部 ・ 立花光夫先生
防衛医科大学校

角誠二郎先生・小林裕幸先生
島根県医療対策課 木村清志先生

大変お世話になりました。

【医療対策課 坂本】



スタッフ

◆ 看護師さんのページについて

〜島根県立中央病院に勤務して〜

【脳神経総合病棟看護師 青山 舞】

看護師として、県立中央病院脳神経総合病棟に勤務して一年が経ちました。久しぶりの島根の生活に慣れることともに社会人として経験を重ね、専門職として患者さんから信頼される看護師を目指し、日々努力してきました。振り返ると無我夢中の一年でした。

私が勤務する病棟は脳梗塞、脳出血、脳腫瘍などの脳疾患の急性期の患者さんが入院されています。これらの疾患は麻痺や高次機能障害などの後遺症を残す事が多く、患者さんやご家族は、身体的、心理的、また

社会復帰について大きな不安や負担を感じていらっしゃることを実感しています。当院は急性期の病院であるため、急性期治療が終わり、病状が安定すると退院され、地域の療養型病院、老人保健施設などに移られたり自宅に帰られる場合もあります。退院に向けてはチーム医療として、医師・看護師・地域医療連携科など多職種が関わり、患者さんやご家族を専門的な立場でサポートします。

学生時代にも講義や実習を通して実感していましたが、病棟で勤務するようになり、あらゆる医療職種の中で看護師が一番患者さんに接する時間が長く、疾患のケアだけでなく、患者さんや家族の気持ちを聴ける存在であることを強く感じました。患者さんや家族から信頼されるよう、日々の看護のなかで、ひとつひとつの関わりを大事に、誠意を持って対応することが看護の基本であると学びました。

患者さんや家族の思いは百人百様であることを常に意識し、一人ひとりの気持ちに沿えるように、専門的知識を深め、心に余裕を持って患者さんや家族に接するスキルを身に付けていくことが私の目標です。

◆ 「隠岐病院の産婦人科医」について

この四月に、隠岐病院（隠岐広域連合設置）の常勤産婦人科医が不在

になり、隠岐での出産ができなくなったことについては、新聞、テレビ等たくさんメディアで報道されていますが、改めて状況を報告します。隠岐病院の産婦人科に常勤の医師を確保するために、昨年来、町や病院と県が一体となって、複数の医師と交渉を続け、一名の方が、この春に来て頂けることになっていましたが、直前になりました。ご家族の事情で着任できなくなりました。

平成十六年秋に、島根大学派遣の医師が退職されてからは、県立中央病院から臨時的に医師を派遣し、県としては、一年半にわたって隠岐病院の産婦人科診療を支援してきました。しかし、中央病院は、県内全域の救急医療、高度医療を担っており、長期にわたる医師派遣をする体制にはありません。これ以上医師に過重な負担のかかるこの臨時的な一人医長体制で、診療を続けることは、安全で安心な出産に繋がらないことが危惧されます。

こういった中で、隠岐病院としては、緊急避難的に本土での出産という苦渋の決断をされました。隠岐島民の皆様には、精神的にも経済的にも大きな負担を伴うことであり、たいへん残念ではありますが、やむを得ない措置であると理解しています。その後、関係者の皆様のご尽力により、常勤医師の確保に目処が立ち、十一月には、県から複数の医師を派遣できる見込みとなりました。これ

で、隠岐島で安全で安心な出産ができる体制がひとまず確保できることとなりました。

しかしながら、勤務医師の地域偏在や診療科偏在は、依然として深刻であり、本号巻頭でもお知らせしたとおり、県ではこの四月から「医師確保対策室」を新設し、少子化、定住対策の面からも、これまで以上に医師確保対策に取り組むこととしております。

【医療対策課 石倉】

島根県が日本に、世界に誇るあれこれ

▼世界一の砂時計



き砂保護のシンボルとして造られた。

写真提供：大田市

▼日本一の縁結び



写真提供：出雲大社

出雲市大社町にある出雲大社神楽殿（いずもたい

しゃかぐらでん）のしめ縄は長さ十三メートル、胴回り九メートル、重さ五トン。長さと同回りが日本一。

県のドクターバンクから

●求人・求職取扱状況

(平成18年4月30日現在)

<求人>28件

邑智郡(病院)／整形外科、精神科
浜田市(病院)／内科
雲南市(病院)／内科
出雲市(診療所)／胃腸科、肛門科
邑智郡(病院)／内科、整形外科、在宅医療
鹿足郡(病院)／内科、外科
仁多郡(診療所)／内科
那賀郡(診療所)／内科
鹿足郡(病院)／放射線科、内科、麻酔科
益田市(病院)／内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科
松江市(病院)／内科、麻酔科
浜田市(病院)／内科、放射線科
江津市(病院)／精神科
仁多郡(病院)／眼科、内科
松江市(その他)／不問
松江市(病院)／内科、リハビリテーション
出雲市(病院)／内科
松江市(その他)／内科
浜田市(その他)／内科
鹿足郡(病院)／整形外科、内科、リハビリテーション
松江市(病院)／内科、整形外科
邑智郡(病院)／内科、整形外科、産婦人科、放射線科
松江市(その他)／不問
雲南市(病院)／麻酔科、精神科、内科、循環器内科、皮膚科
大田市(病院)／精神科、内科
松江市(病院)／神経内科
松江市(その他)／不問
浜田市(その他)／不問

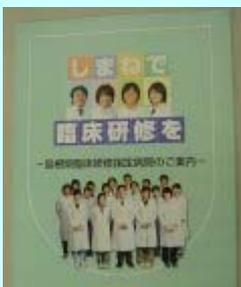
<求職>0件

●申し込み手続き及び詳細につきましては、当紹介所までお問い合わせ下さい。
[電話番号]0852-21-8813(専用電話)
[ホームページアドレス]
<http://www.shimane.med.or.jp/dcbank.htm>
【担当:吉岡・塩田】



【お知らせ】

県内12の臨床研修指定病院のガイドブックを作成しました。ご希望の方は、メール又はFAXで医療対策課医師確保対策室までお申込み[名前、連絡先、住所]ください(無料)。



■医師募集キャラクター

(赤ひげ先生)

赤ひげバンクのキャラクターである(赤ひげ先生)がグレードアップしました。今までは顔だけでしたが、これからは医師募集の顔になるようあっちこちに登場します。よろしくお祈いします。



浜田・江津赤ひげメールのご案内

浜田市・江津市及び浜田地域医療対策会議では、ふるさとの医療情報を定期的にお届けする「浜田・江津赤ひげメール」の無料配信サービスを開始します。

この地域を離れて暮らす医師や医学生、地域医療に関心のある医師や医学生を対象に、国立病院機構浜田医療センターの移転整備状況や島根県済生会江津総合病院の状況、中山間地の国保診療所における地域医療の実践事例など地域の医療情報をお伝えするメールマガジンです。

申し込みは、[浜田市ホームページのトップページから](#)受け付けております。

このメールマガジンの問い合わせ先

〒697-8501

島根県浜田市殿町1番地

浜田市役所

地域医療対策課

TEL(0855)22-2612(代表)

内線(216)



島根県で勤務したい方へ

島根県では、県内で勤務していただける医師を探しています。全国どこへでも専任の担当者が出張し、電話やメールでは相談しにくい、細やかな相談にも応じます。お気軽に[医師確保対策室](#)までご連絡ください。

『赤ひげバンク』の登録者のみなさんへ

ご都合で住所等を変更された場合は、メール又は同封した赤ひげバンク変更登録票でお知らせください。

編集事務局から

『島根の地域医療』第16号から編集長をさせていただくことになりました口羽(くちば)と申します。この4月から医師確保のため邑智郡の邑南町役場から医師確保対策室へ研修派遣というかたちで勉強させてもらっています。今後内容を充実させ読みやすい機関誌を目指したいと思いますので、よろしくお祈いします。

▼現在の医師確保対策室のメンバーです。



島根県医療対策課 医師確保対策室の連絡先

〒690-8501 松江市殿町1番地

E-mail: iryous@pref.shimane.lg.jp

TEL:0852-22-6683

FAX:0852-22-6040

ホームページ[島根の医療]:

<http://www.pref.shimane.lg.jp/iryoutaisaku/>